



一本道

相良中学校通信No.9

令和4年6月6日

校長 吉田憲一

1 学校がシーン！「無言掃除」

以前、全校生徒がいるのに、学校全体が「シーン」となる時間として「朝の読書」を紹介しました。

実は、相良中学校には、あと1つ「シーン」となる時間があるのです。それが「無言掃除」です。本当に無言なのです。元気な挨拶もありません。掃除のときは「会釈」です。掃除の仕方もととても上手です。特に感心しているのが、次の2つです。

- ① 「膝をついての雑巾がけ」
- ② 「早く終わったら、他の場所を見つけて掃除する姿」

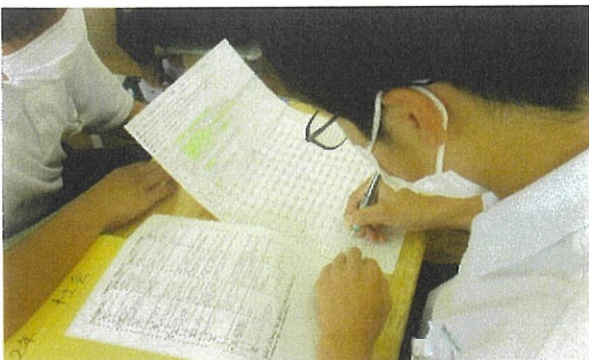
下の写真は、5月24日、図書室前廊下を担当している1年生の中村せいだい君の掃除の姿です。感心です。



このような生徒が、たくさんいます。無言で掃除をして、きれいな学校にしてくれています。

2 期末テスト2週間前。5000チャレンジ！

下の写真は、テストまであと2週間の6月1日の2年生光井ほたか君の様子です。期末テストの範囲が配布され、テストまでの学習計画をしっかりと立てていました。



生徒会の取組の1つに「5000チャレンジ」があります。これは、テスト2週間前からテストの日まで、相良中全員の勉強時間の合計が5000時間を超えることを目標として学習に真剣に取り組む企画です。計算すると、各自2週間で約30時間。つまり、1日平均2時間10分の勉強時間となります。

よく考えたなあ后感心しました。勉強でも気持ちを1つにして学力向上につなげてくれそうです。

3 「発表力」が授業を活性化する！

6月3日、教育実習生の東先生が道徳の授業を行いました。初授業ですが、堂々とした授業でした。その要因は、東先生のしっかりとした教材研究と「生徒たちの発表力」でした。郷土愛について考える時間でした。下の写真は、課題について班でまとめて発表している様子です。



また、最後には、「相良村の伝統や文化を、今後どうしていきたいか。」という課題について各自文章でまとめ、発表しました。

荒川れなさんは「受け継がれてきた伝統や文化を大切にしていきたいし、相良村という故郷の大きさに気づいた。」と発表しました。また、坂本あかりさんは、「将来相良村を出た時に、帰りたいと思えるくらい好きになりたい。」と発表しました。「発表力」は授業を活性化します。

相良中生の4つの身に付けたい力の1つ「発表力」に磨きをかけています。